

フィッシャー・ロデイスカウ最後の弟子 ドイツ歌曲の傑作

ベンジャミン・アツプル

バリトン

「冬の旅」

シューベルト 《歌曲集「冬の旅」》 D911 op.89

愛はさまよう、凍てつく空に――

BENJAMIN APTUL
SCHEUBERT "WINTERREISE"
BARI TONE



ジェームズ・ベイリユー ピアノ

©Kaupo Kikkas

上演時間: 約80分間(休憩なし)

©David Ruano

2023.

11/26(日) 2:00PM開演(1:30PM開場) 兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール
A ¥5,000 B ¥4,000 (税込/全席指定) 〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口スグ/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

一般発売
7/30
(日)

芸術文化センター チケットオフィス
0798-68-0255
(10:00AM-5:00PM 月曜休み ※祝日の場合翌日)
インターネット予約 <https://www.gcenter-hyogo.jp>
※窓口での販売(残席がある場合)は8/1(火)より

芸術文化センター会員
先行予約受付開始 7/29(土)
※未就学児はご入場いただけません。
※やむを得ない事情により、出演者・曲目が
変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。



兵庫県立
芸術文化センター



主催: 兵庫県、兵庫県立芸術文化センター



©Uwe Arens / Sony Classical

ドイツ出身の若きバリトンが贈る傑作歌曲集

早世の大作曲家・シューベルト。31年の短い生涯の中で実に600曲におよぶ歌曲を作曲した「歌曲王」です。その中でも、死の前年に作曲された歌曲集「冬の旅」は彼の芸術性が結集した最高傑作と言われ、後世にも大きな影響を遺しました。そこに描かれるのは、恋に破れた青年の孤独な冬の一人旅。絶望と少しの希望。甘く切なく、シューベルト独特の陰影が、聴く者の胸に深く染み入ります。

歌うのは、ドイツ出身で現在は英国を拠点に活躍するベンヤミン・アップル。大歌手ディートリヒ・フィッシャー＝ディースカウの最後の愛弟子で、近年、活躍が目覚ましいバリトン歌手です。世界中で活躍しており、日本ではNHK交響楽団や「1万人の第九」にゲスト出演。この「冬の旅」はじめシューベルト歌曲のCDもリリースしています。長身の体から紡ぎだされるみずみずしいバリトン。数々の名歌手と協演を重ねてきたピアニスト、ジェームズ・ベイリユと一緒に、美しき歌曲を歌いあげます。

シューベルト 歌曲集「冬の旅」			
1. おやすみ	7. 川の上で	13. 郵便馬車	19. まぼろし
2. 風見の旗	8. 回想	14. 霜おく頭	20. 道しるべ
3. 凍った涙	9. 鬼火	15. 烏	21. 宿屋
4. 氷結	10. 休息	16. 最後の希望	22. 勇氣
5. 菩提樹	11. 春の夢	17. 村にて	23. 三つの太陽
6. 溢れる涙	12. 孤独	18. 嵐の朝	24. 辻音楽師

ベンヤミン・アップル (バリトン) Benjamin Appl, baritone

ドイツ出身。20世紀最高の声楽家の一人ディートリヒ・フィッシャー＝ディースカウから寵愛を受けた最後の愛弟子。低音から高音まで印象的で柔らかな響きを持ち、魂のこもった歌声は高い評価を受けている。音楽の殿堂カーネギー・ホール(米国)や世界最高峰の室内楽コンサートホールの1つであるウィグモア・ホール(英国)など世界の名だたるホールで頻りにリサイタルを行い、聴衆を魅了している。

ソリストとしても活躍しており、若き天才指揮者クラウス・マケラを始め、クリスティアン・ティーレマン、マリン・オルソップ、ヤニック・ネゼ＝セガン等の名匠の指揮で、ロイヤル・コンサートヘボウ管、ロンドン・フィルハーモニー管、ウィーン響、フィラデルフィア管などと共演。

2010年より拠点を英国ロンドンに移し、2014年から次々に新人賞にあたるさまざまな賞を受賞。22/23シーズンは、英国国教会セント・マーティン・イン・ザ・フィールズのレジデント・アーティストを務めている。

日本デビューは2018年パヴァー・ヤルヴィ指揮NHK交響楽団。これまでに、サントリー「1万人の第九」(2018)、京都・仁和寺で開催された「音舞台」(2019)に出演。

録音にも積極的で「魂の故郷～シューベルト→ブリテン歌曲集」(ソニークラシカル)、「シューベルト:冬の旅」(alphaクラシックス)など計14枚リリースしている。



©Kaupo Kikkas

ジェームズ・ベイリユ (ピアノ) James Baillieu, piano

南アフリカ出身。ケープタウン大学及びに英国王立音楽院卒業。同世代の歌曲・室内楽ピアニストを代表する一人。ウィグモア・ホール声楽コンクール(英国)やリート国際声楽コンクール(ドイツ)等でピアニストとして賞を受賞。キリ・テ・カナワ、中村恵理など、著名な音楽家からの共演オファーが絶えず、録音も多い。

ソリストとしても、アルスター管弦楽団、イギリス室内管弦楽団等で演奏する他、カーネギーホール、ウィグモア・ホール、コンサートヘボウ・アムステルダム、ベルリン・コンツェルトハウス、ウィーン楽友協会ホール、パービカンセンター、ウィーン・コンツェルトハウスなど世界の名だたるホールで頻りに演奏している。エクサンプロバンス、ヴェルビエ、シュレスヴィヒ・ホルシュタイン、ベルゲン音楽祭等数多くの音楽祭に招待されている。企画制作にも長け、イギリスやオーストラリアの音楽祭でその能力を發揮している。

2011年から英国王立音楽院教授を務める他、英国ロイヤル・オペラ・ハウスなどでも指導にあたっている。



<https://www.gcenter-hyogo.jp>

兵庫県立芸術文化センター
Hyogo Performing Arts Center

先行予約会員へのご登録はこちら



便利なアクセス!!

大阪梅田からも神戸三宮からも
ホールまで15分
(阪急電車特急乗車の場合)

◎ 阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)

◎ JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

アクセス

